



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月7日

上場会社名 札幌臨床検査センター株式会社
 コード番号 9776 URL <http://www.saturin.co.jp/>

上場取引所 東札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大井 典雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 荘司 晃久

TEL 011-613-3210

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	4,379	3.3	277	150.4	288	126.6	192	139.9
29年3月期第1四半期	4,238	1.5	110	58.8	127	54.1	80	53.4

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 190百万円 (146.0%) 29年3月期第1四半期 77百万円 (57.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	55.22	
29年3月期第1四半期	23.01	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	10,237	7,139	69.7	2,051.85
29年3月期	9,727	6,983	71.8	2,007.21

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 7,139百万円 29年3月期 6,983百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		10.00	10.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		0.00		10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,655	2.6	338	3.5	353	4.5	237	1.0	68.12
通期	17,695	3.8	751	2.6	778	3.1	522	1.8	150.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	4,216,000 株	29年3月期	4,216,000 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

30年3月期1Q	736,583 株	29年3月期	736,583 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	3,479,417 株	29年3月期1Q	3,479,450 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策を背景に緩やかな回復基調で推移し、企業収益や雇用情勢は改善傾向が続いております。

一方で、新興国経済の減速、米国の政策運営や欧州の政治情勢等の影響による世界経済の不確実性の高まり等、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが拠点を構える北海道の経済におきましては、公共工事や民間の設備投資が増加し、観光では、新幹線の開業等により来道者数が増加しました。また個人消費も持ち直しの動きが見られ、雇用情勢も着実に改善しております。

医療業界におきましては、医療費抑制政策が続く中、社会的要請に対応するため、厳しい環境変化への対応が求められており、引き続き各企業は、より一層の経営の効率化及び合理化が求められております。

このような状況の下、当社グループは、医療機関の多様化するニーズに応えた営業活動を展開し、新規顧客の獲得及び調剤薬局の新規出店による営業基盤の拡大に努めると共に、引き続き経費効率を重視した収益基盤の強化に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高4,379百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益277百万円（同150.4%増）、経常利益288百万円（同126.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益192百万円（同139.9%増）と増収増益になりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 臨床検査事業

臨床検査事業におきましては、前期及び当期に獲得した新規顧客との取引が順調に推移したことから売上高1,467百万円（同3.0%増）、セグメント利益118百万円（同40.4%増）と増収増益になりました。

② 調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、前期に開局した店舗及び既存店舗の業績が堅調に推移したことから売上高2,705百万円（同6.8%増）、セグメント利益250百万円（同111.7%増）と増収増益になりました。

③ 医療機器販売・保守事業

医療機器販売・保守事業におきましては、大型備品の販売が前年同期を下回ったことから売上高189百万円（同27.1%減）、セグメント損失2百万円（前年同期はセグメント利益2百万円）になりました。

④ その他の事業

臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守におきましては、売上高16百万円（前年同期比20.6%減）、セグメント利益11百万円（同19.6%減）になりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は7,125百万円となり、前連結会計年度末に比べ514百万円増加（前連結会計年度末比7.8%増）いたしました。これは主に現金及び預金が300百万円、商品が187百万円、受取手形及び売掛金が54百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は3,111百万円となり、前連結会計年度末に比べ5百万円減少（同0.2%減）いたしました。これは主に建物及び構築物が20百万円、リース資産が10百万円それぞれ増加しましたが、工具、器具及び備品が24百万円、土地が9百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、総資産は10,237百万円となり、前連結会計年度末に比べ509百万円増加（同5.2%増）いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は2,833百万円となり、前連結会計年度末に比べ344百万円増加（同13.8%増）いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が297百万円、未払金が30百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定負債は264百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円増加（同3.7%増）となりました。これは主にリース債務が10百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は3,097百万円となり、前連結会計年度末に比べ353百万円増加（同12.9%増）いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は7,139百万円となり、前連結会計年度末に比べ155百万円増加(同2.2%増)いたしました。これは主に剰余金の配当34百万円がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益192百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は69.7%となり、前連結会計年度末比2.1ポイント下回りました。

また、1株当たり純資産は2,051円85銭となり、前連結会計年度末比44円64銭増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、売上高、利益ともに順調に推移していることから、平成29年5月12日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

今後の業績への影響を見極めた上で、修正が必要と判断される場合には、お知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,134,643	3,434,950
受取手形及び売掛金	2,724,915	2,779,505
商品及び製品	523,443	710,829
仕掛品	14,493	14,838
原材料及び貯蔵品	54,920	56,154
繰延税金資産	74,785	74,795
その他	117,879	88,360
貸倒引当金	△33,772	△33,638
流動資産合計	6,611,308	7,125,796
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,050,819	2,048,144
減価償却累計額	△1,292,248	△1,269,215
建物及び構築物(純額)	758,570	778,929
機械装置及び運搬具	39,193	35,887
減価償却累計額	△33,068	△31,690
機械装置及び運搬具(純額)	6,125	4,196
工具、器具及び備品	2,708,758	2,730,942
減価償却累計額	△2,221,387	△2,267,647
工具、器具及び備品(純額)	487,371	463,294
土地	1,061,696	1,052,372
リース資産	66,459	76,121
減価償却累計額	△36,943	△36,200
リース資産(純額)	29,516	39,921
建設仮勘定	500	—
有形固定資産合計	2,343,780	2,338,714
無形固定資産		
その他	97,746	97,319
無形固定資産合計	97,746	97,319
投資その他の資産		
投資有価証券	137,194	135,531
長期貸付金	3,497	2,307
長期前払費用	29,412	33,891
差入保証金	259,213	256,710
繰延税金資産	130,933	130,542
その他	133,547	134,495
貸倒引当金	△18,858	△18,263
投資その他の資産合計	674,940	675,216
固定資産合計	3,116,467	3,111,250
資産合計	9,727,775	10,237,046

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,040,961	2,338,794
短期借入金	13,316	8,315
リース債務	12,217	12,910
未払法人税等	102,982	111,163
賞与引当金	115,357	60,306
未払金	73,758	104,311
その他	129,859	197,226
流動負債合計	2,488,453	2,833,028
固定負債		
リース債務	20,708	31,457
役員退職慰労引当金	60,674	62,433
退職給付に係る負債	18,515	18,832
長期未払金	148,570	145,132
資産除去債務	2,000	2,000
その他	4,930	4,930
固定負債合計	255,400	264,786
負債合計	2,743,853	3,097,815
純資産の部		
株主資本		
資本金	983,350	983,350
資本剰余金	1,015,270	1,015,270
利益剰余金	5,459,411	5,616,738
自己株式	△504,653	△504,653
株主資本合計	6,953,377	7,110,705
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,543	28,526
その他の包括利益累計額合計	30,543	28,526
純資産合計	6,983,921	7,139,231
負債純資産合計	9,727,775	10,237,046

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	4,238,582	4,379,175
売上原価	3,030,563	3,012,017
売上総利益	1,208,018	1,367,157
販売費及び一般管理費	1,097,074	1,089,341
営業利益	110,944	277,815
営業外収益		
受取利息	227	170
受取配当金	4,203	1,818
受取賃貸料	11,797	11,401
その他	13,426	7,702
営業外収益合計	29,655	21,092
営業外費用		
支払利息	300	216
賃貸収入原価	12,370	9,780
その他	734	677
営業外費用合計	13,405	10,675
経常利益	127,193	288,232
特別利益		
固定資産売却益	—	1,050
特別利益合計	—	1,050
特別損失		
固定資産売却損	22	—
固定資産除却損	106	27
特別損失合計	128	27
税金等調整前四半期純利益	127,065	289,255
法人税等	46,996	97,133
四半期純利益	80,068	192,122
親会社株主に帰属する四半期純利益	80,068	192,122

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	80,068	192,122
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,795	△2,017
その他の包括利益合計	△2,795	△2,017
四半期包括利益	77,273	190,104
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	77,273	190,104
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	医療機器 販売・保 守事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,424,826	2,533,457	259,448	4,217,732	20,850	4,238,582
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	191,866	191,866	342	192,208
計	1,424,826	2,533,457	451,314	4,409,598	21,192	4,430,790
セグメント利益	84,635	118,489	2,253	205,378	14,926	220,305

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守による収入を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	205,378
「その他」の区分の利益	14,926
セグメント間取引消去	830
全社費用(注)	△110,191
四半期連結損益計算書の営業利益	110,944

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	医療機器 販売・保 守事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,467,934	2,705,546	189,149	4,362,630	16,545	4,379,175
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	156,069	156,069	364	156,434
計	1,467,934	2,705,546	345,219	4,518,699	16,909	4,535,609
セグメント利益又は損失 (△)	118,862	250,860	△2,995	366,727	11,999	378,726

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守による収入を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	366,727
「その他」の区分の利益	11,999
セグメント間取引消去	2,929
全社費用(注)	△103,840
四半期連結損益計算書の営業利益	277,815

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。